

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 3 年 1 月 12 日

協議会名:	小平町地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>小平町は、北海道の北西部、留萌振興局管内の南部に位置し、北は苫前町、南は管内の拠点都市である留萌市へ隣接している。面積は627.22km²であり、留萌管内においては最大規模の行政区域を有している。</p> <p>地域の主な公共交通手段は、留萌市から小平町以北を結ぶ地域間幹線系統バス及びタクシーのほか、札幌市と管内を結ぶ都市間高速バスとなっている。</p> <p>町内においては、平成26年10月よりデマンドバスの運行が行われており、小平市街地内や小平町の東部に位置する達布地区に至るまで、広範囲に渡る公共交通となっている。</p> <p>また、これらの公共交通については、地域住民の食料品や生活用品の購入、医療機関の受診や高校通学など、日常の生活を支える基盤となっており、特に車を運転できない高齢者にとっては必要不可欠なものとして機能している。</p> <p>さらに、高齢化や人口減少により、町内の生活用品の販売店自体が少なくなってきたり、生活に必要な買い物をするためには留萌市へ出かける必要があるという状況にもなっている。</p> <p>このことから、デマンドバスと地域間幹線系統との適切な接続は、地域住民が住みなれた地域で安心して快適な暮らしをするために欠かせないものであり、地域内フィーダー系統確保維持事業により移動手段の提供が必要である。</p>